

令和6年度

第4回積志小学校学校運営協議会



令和7年2月14日（金）

浜松市立積志小学校

令和6年度 浜松市立積志小学校 学校運営協議会

会 長	渥美 年弘 様
副 会 長	高林 次枝 様
委 員	村田富佐子 様
委 員	小林 博典 様
委 員	高林亜衣子 様
委 員	竹内 涼子 様
委 員	市川 和廣 様
委 員	森川 学 様
委 員	伊達 麻絹 様
委 員	尾上 幸穂 様

《学校職員》

校 長	佐藤 匡子
教 頭	矢作 実
主幹教諭	児玉健一郎
担当教諭	森山 貴史
C Sディレクター	杉浦 浩

## 第4回積志小学校学校運営協議会

日時：令和7年2月14日（金）  
14：30～16：00  
場所：積志小学校会議室

【司会：森山】

- 1 会長あいさつ
- 2 校長あいさつ
- 3 議長の選出
- 4 前回会議録確認【資料1】
- 5 熟議 進行：議長
  - (1) 学校関係者評価について【資料2】
  - (2) 来年度の学校運営の基本方針について【資料3】
  - (3) 積志小学校運営協議会自己評価について【資料4】
- 6 連絡
  - (1) 関係各所からのお知らせ
  - (2) 来年度の学校運営協議会について
  - (3) その他

M E M O

## 令和6年度 第3回 積志小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年10月11日（金） 13時40分から15時30分まで
- 2 開催場所 積志小学校 会議室、5年2組教室
- 3 出席委員 渥美 年弘、村田富佐子、小林 博典、高林 亜衣子、竹内 涼子、市川 和廣、森川 学、伊達 麻絹、尾上 幸穂
- 4 欠席委員 高林 次枝
- 5 オブザーバー 小池 誠（積志協働センター）
- 6 学 校 佐藤 匡子（校長）、矢作 実（教頭）、児玉 健一郎（主幹教諭）  
森山 貴史（CS担当教諭）、杉浦 浩（CSディレクター）
- 7 教育委員会 牧野 知子（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 杉浦 浩

### 10 協議事項

- 5年生児童との意見交換をして、地域・保護者としてできること

### 11 会議記録

司会から、委員総数10人中9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

#### （1）議長の選出について

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、会長から竹内委員を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

#### （2）5年生児童との意見交換をして、地域・保護者としてできることについて

議長の指示により、CS担当から、別紙資料に基づいて5年2組国語科「よりよい学校生活のために」の授業参加について趣旨説明があった。児童との意見交換では、

① 理想の学校や楽しい学校になるために必要なこと

② 学校生活がよりよくなるために、先生以外の大人のどんな手助けがあったらいいか  
というテーマのもと、各委員は5年2組の教室で5つのグループに分かれて、児童の意見を聞いたり、話し合いに参加したりした。

その後、各委員は、2つのグループに分かれ、児童との意見交換で話し合った内容について情報共有した。

【Aグループ：渥美委員、竹内委員、村田委員、小林委員、尾上委員】

【Bグループ：市川委員、伊達委員、高林委員、森川委員】

#### Aグループ

- ・ 多くの子供たちから、防災関連の話が出ていた。避難訓練の時に、ガラスの代わりに発砲スチロールなどをまいて、危険な場所を知る体験があったらよいという意見があった。
- ・ 学校内の環境をもっとよくするために、草取りをしたり、家庭科室の掃除をしたりするのもよい。
- ・ 図書室を2階だけではなくその他の場所にも広げて、本を借りられる場所があると、本を読む機会が増えるのではないか。

#### Bグループ

- ・ 避難経路図に、学校内の危険な場所が分かるように工夫するとよい。
- ・ 給食時の放送の内容を、もっと増やしたらどうか。また、給食時に流れる音楽も、自分たちで決めてみるのもよい。
- ・ 12月に行われる地域防災の日には、中高生だけでなく、小学生も参加できるようにしてみてもどうか。

#### その他報告事項等

司会から、次回会議は、令和7年 2月14日（金）14時から積志小会議室で開催する旨の報告があった。

## よりよい積志小づくりのためのアンケート(後期)

○ 設問ごとの数値は、左から順に 【1-そう思う 2-だいたいそう思う 3-あまりそう思わない 4-そう思わない 5-分からない】の割合を示しています。																
	設問	児童					保護者					職員				
めざす学校の姿	1	進んでチャレンジすることをして いる。					お子さんは、進んでチャレンジを している。					子供たちは、進んでチャレンジを している。				
		31%	49%	14%	3%	3%	18%	62%	18%	2%	0%	16%	71%	4%	2%	4%
つよい子	2	進んで運動をしている。					お子さんは、進んで運動に取り組 んでいる。					子供たちは継続的に運動に取り組 んでいる。				
		45%	33%	15%	4%	3%	32%	42%	23%	3%	0%	9%	76%	11%	0%	2%
	3	ねばり強くがんばることができる 。					お子さんはすぐにあきらめずに、 粘り強く活動できる。					子供たちは、粘り強く活動でき る。				
		35%	43%	15%	3%	4%	14%	56%	25%	4%	1%	7%	69%	13%	0%	9%
4	安全に気を付けて生活している。					お子さんは、安全に気を付けて生 活している。					子供たちは、安全に気を付けて生 活している。					
	61%	29%	6%	2%	2%	26%	62%	10%	2%	0%	7%	56%	33%	0%	2%	
みとめあう子	5	ほかのクラスとの交流遊びを楽し んでいる。					ほかのクラスとの交流遊びを楽し んでいる。					子供たちは、異学年との交流遊び を楽しんでいる。				
		66%	24%	7%	1%	2%	39%	42%	13%	3%	3%	44%	44%	4%	0%	4%
	6	高学年：イベントの運営、委員会や係 活動がんばっている。 低学年：係のしごとや、イベントの役 を頑張っている					高学年：お子さんはイベントの運営、委員 会や係活動に取り組んでいる。 低学年：お子さんは、係のしごとや、イ ベントの役を頑張っている。					子供たちは、イベントの運営、委 員会や係活動がんばっている。				
56%		32%	6%	2%	3%	43%	48%	4%	2%	3%	47%	49%	0%	0%	2%	
7	自分や友達のよいところを、たく さん見つけた。					お子さんは、自分や友達のよいと ころを、見つけている。					子供たちは、自分や友達のよいところを、 たくさん見つけることができる。					
	43%	40%	9%	3%	4%	28%	60%	8%	1%	2%	20%	60%	13%	0%	4%	
しんけんな子	8	自分の思いや考えを言葉で伝えたり、ノー トに表現したりすることができる。					お子さんは、自分の思いや考えを言葉で伝 えることができる。					子供たちは、自分の思いや考えを言葉で伝 えたり、ノートに表現したりするこ とができる。				
		35%	40%	16%	6%	4%	17%	57%	21%	5%	0%	7%	64%	16%	0%	11%
	9	学習のきまりを守って、学習に取 り組んでいる。					お子さんは、学習のきまりを守って、 学習に取り組んでいる。					子供たちは、学習のきまりを守って、 学習に取り組んでいる。				
51%		38%	6%	1%	3%	23%	59%	14%	4%	1%	18%	71%	0%	0%	9%	
10	学習に、パソコンやタブレットを よく使っている。					お子さんは、家庭で、パソコンやタブ レットを使って学習している。					子供たちは、授業や家庭学習でICT を活用している。					
	54%	32%	8%	2%	4%	20%	34%	25%	20%	0%	40%	47%	2%	0%	9%	
キャリア	11	将来の夢や目標をもっている。					お子さんは、将来の夢や目標を もっている。					子供たちは、将来の夢や目標を もっている。				
		64%	20%	5%	5%	5%	20%	45%	25%	5%	4%	9%	67%	16%	0%	7%

## よりよい積志小づくりのアンケートの結果より

### 1 つよい子部会（体）

- ①体カアップの活動を計画的に行う。  
スローアップ体操（投力強化）  
新体カテスト練習  
体カアップ（持久走）
- ②「きたえようカード」改善  
学年の実態に合わせた難易度の調整
- ③「心の日」の内容  
アンガーマネジメント的な内容を加える。
- ④引き渡し訓練の実施方法の見直し  
参観日とセットではなく、実際の場면을想定したものに

### 2 みとめ合う子部会（徳）

- ①異学年交流、互いのよさの認め合い（継続）  
活動の足あとの表し方
- ②一人一人の活躍の場づくり  
学級や学年イベントの実行委員の活動を充実させる。  
活動の足跡…学年掲示板を活用

### 3 しんけんな子部会（知）

- ①子供たちが中心となって深め合う学び  
ICT、体験活動の充実  
自分で学び方を選択する学習活動  
学習の振り返り  
地域教材や人材の活用

### 4 OUR PLAN部会（教育課程）

- ①学校の方針・様子を保護者に伝える場の設定  
親子で情報モラルについて考える場の設定  
三者面談を4月、7月に加え、12月に希望制として実施

②校内のICT化の推進

情報ミニ研修や実践事例の紹介を計画的に実施

③地域連携、地域素材とのつながり

ドリームタイム（総合的な学習の時間）の指導計画に、地域の「人」「もの」「こと」から学んだことを記録として残し、次年度以降へ引き継ぐ。

＜本年度の目標＞

- ・学校のニーズに合った学校支援ボランティアの充実
- ・地域への周知と協力体制の確立
- ・ボランティアとの連絡ツールの確立
- ・ボランティア名の決定（マスコットキャラクター、ワッペンなどの作成）

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・学校教育目標や学校運営の基本方針についての内容を理解し、熟議することができた。昨年より理解が深まったことで、より具体的に熟議できた。
- ・校長先生より「学校経営書」をもとに、学校経営の基本理念と学校教育目標についての説明を受け、目指す学校の姿を理解することができた。教育課程前期の振り返りにて、教職員との意見交換を活発に行えたことで学校の取り組みを具体的に理解することができ、内容を委員間で情報共有できたことで地域及び保護者としてできることについて熟議することができた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・学校支援活動について、実行すべき役割分担や見直しなど具体的な熟議を進めることはできていなかった。外部に支援活動をもっと積極的にPRしても良いと思う。
- ・教職員の教育課程会議や5年2組の子供たちとの意見交換や交流の場があり、学校生活における悩み事や困り事を直接聞くことができ、その後の熟議において委員間で意見を出し合うことができたため、教育活動の充実につながる大きな成果となった。また、今回のような教職員や子供たちとの交流は、委員として重要な活動であると改めて感じた。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・授業ボランティアなどの活動については、少しずつメンバーも増え、充実してきた。情報発信については、まだ十分とは言えないと思うが、今までの話し合いの中でもなかなかいい案がないので、今後も引き続き考えていきたい。
- ・昨年の評価と同様、地域に対する情報発信は十分にできていないと感じた。他地域の協議会はどのような発信をしているか等、情報収集が必要であると感じた。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- ・学校支援ボランティアの充実、ボランティア募集方法
- ・地域への周知、連絡体制の確立、ボランティアとの連絡ツールの確立
- ・今年度と同等の子供たちとの意見交換及び交流